

事務事業名 子どもの読書活動推進事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1632

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090609-11-00
基本事業：	05	読書環境の整備	担当部	教育部
基本事業の成果指標	図書の一人当たりの貸出冊数 図書館の設備・資料の満足度		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	文化振興・図書館担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成23年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
0歳から概ね18歳以下の子どもとその保護者、学校、読書団体			第二次筑紫野市子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもの読書環境の整備に関する各種事業を実施するもの。 小学生読書リーダー・中学生読書サポーター養成講座：学校に読書を広めてもらうことを目的に講演や本のPOP作り体験などの講座を毎年開催。 子どもの読書活動関係団体連絡会：読書活動関係団体の連携体制を確立するための会議を平成30年度から開催。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
子どもの読書活動を推進し、健全な育成を図る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
児童書の貸出冊数		冊	197,199	202,373	202,500	203,000			202,500
学校図書館における1人あたりの貸出冊数		冊	56.2	43.6	64	60			64
5. コスト									
事業費		計	千円	75	30	250	250		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	10	15	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
		一般	千円	65	15	250	250		
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0.2				
正職員人件費		千円	1,599	1,618	1,613				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,674	1,648	1,863	250			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない (停滞・低下)		状況 市民図書館における児童書の貸出冊数が増加している。 原因 読書週間イベント、お楽しみ会、夏休み読書ラリー、文化講座、ふれあい読書講座など、様々なイベントを開催し、子どもや保護者、地域の方々に読書や読み聞かせの楽しさ、大切さについて啓発を行った。また、平成29年度から新たに中学生を対象とした読書サポーター養成講座を開催した。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり	類似事業の「図書館運営事業」において、以下の取り組みを実施。 ブックスタート：赤ちゃんに絵本をプレゼントする活動。毎月第3火曜日と6月・12月の日曜日に読み聞かせや絵本の配布を実施。 読書講座：市民図書館で読書イベント、講演会、読み聞かせ会などを毎年実施。 学校向け配本サービス：市民図書館の本をすべての小中学校に配本と回収を行うサービスを平成30年12月から試行開始。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
				必要性 全国的に見られる子どもの読書離れ、活字離れが本市においても現れていることから、子どもが読書習慣を身に付け、将来にわたって読書の楽しさを感じることができるよう継続して事業を進める必要がある。					
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
国の「子どもの読書活動の推進に関する法律」や県の「福岡県子ども読書推進計画」に基づき、平成24年に「筑紫野市子どもの読書活動推進計画」を策定し、平成28年に第二次計画を策定した。									